

高齢者虐待を防ぐため 施設での虐待防止の視点を知る

近年、全国的に高齢者虐待に関する通報・相談等の件数は増加の傾向にあります。高齢者福祉施設・介護保険サービス事業所等(以下、高齢者施設等)による高齢者虐待についても、報道等でたびたびクローズアップされるなど、深刻な被害を見聞きすることが少なくありません。高齢者虐待の背景として、人員不足や人員配置の問題、およびそれらに伴う多忙さ、教育・知識・介護技術等に関する問題、職員へのストレスや感情のコントロールの問題など、さまざまな要因が影響しており、深刻な状況になる前に発見し適切に支援を行うことが必要とされています。

●高齢者施設での高齢者虐待とは？

高齢者施設等で働いている職員から、高齢者がさまざまな形で不当な扱いを受けている状態をいいます。単に暴力を振るうことだけが虐待ではありません。

地域包括支援課 (地域包括支援センター) ☎(25) 8150

●「相談をお返す」しています

Table with 2 columns: Category (身体的虐待, 介護の放棄・放任, etc.) and Description.

●「相談をお返す」しています

虐待予防の視点を正しくもち、早期発見・対応することで、高齢者が安心して生活できる場所を長く確保できるようになります。高齢者虐待防止法は、虐待をしてしまった人を罰するための法律ではなく、どうすれば高齢者が安全で安心な生活を送ることができるかを一緒に考えるための法律です。

●虐待のサインを見逃さない

Body restraints are prohibited in principle. Includes an image of an elderly person sitting on the floor and text explaining prohibited actions like tying them to a bed.

ケアメン (男性介護者) の会

男性介護者の皆さん、日々の介護に悩んだり疲れたりしていませんか？ 介護を一人で頑張らず、仲間と一緒に学び、情報を共有しながら日頃の介護に活かしていただけるようケアメン(男性介護者)の会を開催します。

13時～ 情報交換 講演「負担のかからない介護技術」 講師 オムツフィッター 中村 真理 氏

日時 11月16日(日) 13時～15時 場所 今津保健センター ホール 申込締切 11月13日(金) までに、地域包括支援課にお申し込みください。

すてきな作品をお待ちしています！

郵便またはEメールで、投稿者氏名・住所・電話番号を書き添えて投稿してください。作品は未発表のもので、応募は一人1点とし、作品や氏名には必ずふりがなをお願いします。



次回締切 11月25日(水)必着 / 掲載月 平成28年1月号

投稿先 郵便→ 〒520-1592 高島市新旭町北畑565番地 高島市秘書広報課あて メール→ hishokoho@city.takashima.lg.jp

それぞれに 子を追うカメラ 運動会 大華火 見事輝き 月微笑む 流し台 所狭しと 瓜並ぶ 食つぶし 地方再生 なに思ふ 亡き夫の 口ぐせいつも ケ・セラ・セラ 穂嵩の絵 テレビに写り 歓声を 新米やおかずいらぬと 孫が云う 薔薇一輪 古城の影に 抱かれて 老い年で 夢待ちつづけた 金婚式 秋空に わき立つ雲の ブードル犬 時間すこい 笑い高々 墓掃除 雛形の 飛ぶ鳥決める 首ひとつ 晋作の 志継ぎ 倒幕へ 内孫の 琵琶湖一周 夏休み コンサートで 老いも若きも 歓喜の輪 味に笑顔 心の上のせ まるくなり 夫と娘と 参道を行く 初時雨 しみじみと 身にしむ話 友に聞く 空き巣犯 空き巣にやられ ご立腹 昆布煮る 秋いっぱいの 部屋になる 雨だれが トユに反射し 美しく バスの旅 オータムカラー 素晴らしい 落葉焚く 煙吸い込む 鯛雲 やって来る 心おちつかせ 孫迎える 暑さざりて 鈴虫泣くや 秋の風 おいしい粗茶 ヘーイといと急須 放る妻 心労に 本寄り添いし 日溜ぼっこ 畦一路 赤絨毯や 曼珠沙華 赤や黄に 木々の化粧は 色づけり 電線に つばめ集いて 大海原へ 手を合わす 弥陀に救われ 今を生き よく咲いて くれたと花に ねがらいの 秋の夜なが 読書とくるか 俳句作り 時雨来る 高島平野 穫り終える かずかずの デイの想い出 残していく 耳すます 虫と鳥とが 合唱か 暑かった 夏も去りゆき 食の秋 安らげる 声を聞かせる 法師蟬 立冬の ジャージの色は エヴァかな

暑くとも 年に一度の 暮まいる 猛暑すぎ 我にかえれば 秋の風 汗かいて グランドゴルフ 夏すぎる 台風去り 掴んでみたい 鮎の群 身が縮み 心を撫でる 台風あと 友が逝き 淋しさ誘う 虫の音や 副市長 高島救う 一休さん 萬葉の 氷集めしや 鮎瀬上 台風で 湖は大しけ 白波が 外孫も 生まれてじじばば 忙しい 初摺の なつかしい音 実習生 秋中に 菊の香のせて 空わたる 口笛吹きつつ 孫は遊びに 夢中なり ノーメイク 素敵な女医に 診てもらい すがすがし 藤樹の宮で 奉誦す とれ秋に ダイエットなんて なんのその 車イス 押す手に愛が あふれてる ありがたき 災害少な 生まれの地 赤とんぼ 背に止まらせて 童行く 夏祭り 抽選の刻 人だかり 落ちゆかん 西日にありて おぼろ月 虫の声 侘しさつもの 夜長かな 秋うらら 九十三の 年齢差 曼珠沙華 季節忘れず 土手染める ひそやかに 紫式部 季の色 迷い猿 縁側越しに ならめっこ 芋の露 風の音聞き 輪を画く 秋の蚊の 哀れや肌を 刺しもせず 楓舞う にじみ映りし アンドロメダ タぐれ時 どこからとなく 秋刀魚の香 手をかける 菊も介護も 子育ても 子の元に 二十年来の友 越すと云う これ食うか これ持て帰れ 親心 朝霧立ち 墨絵見るよな 遠景色 渚の波 吾子の砂城 消してゆく 黄金波 採算合わずの 汗の玉 見事なる 夕焼空に 立ちすくみ 抗がん剤 耐えて薄髪 ありのまま 山寺の お茶する庫裏に オニヤンマ

前川 たつ新 針江 益本 さつき マ 沢 神田 操 新 饗庭 鞍田 作枝 新 饗庭 岡田 芳子 マ 沢 北坂 修 高 武曾横山 川尻 耕生 今 松陽台 駒井 重雄 安 北船木 田中せつ子 高 勝野 橋本 重生 今 今津 小和田 富枝 新 旭 木津 みね 高 拜戸 添田 富美子 安 常磐木 西川 五蔵三 高 高島 福井 良 安 西万木 森本 幸枝 今 梅原 渡辺 幸江 新 深溝 梅村 保次 安 四津川 山山美智子 朽 麻生 高澤 芳枝 今 松陽台 和田阿也子 新 旭 上原すみ江 新 太田 墨友 光代 今 上弘部 高岡ふじ江 マ 小荒路 日浅 優子 新 太田 中村 和子 安 五番領 西 晴明 高 鴨川平 西 美津子 高 鴨川平 枝 常信 安 川島 早田 弘子 今 今津 本城 和枝 新 太田 高橋レイ子 高 鴨川平 八木 宏 高 鴨 井保 孝夫 安 西万木 枝 千代子 安 常磐木 枝 千代子 安 常磐木 澤辺みさを 新 葦園 中内 保男 新 針江 野田 敏子 新 旭